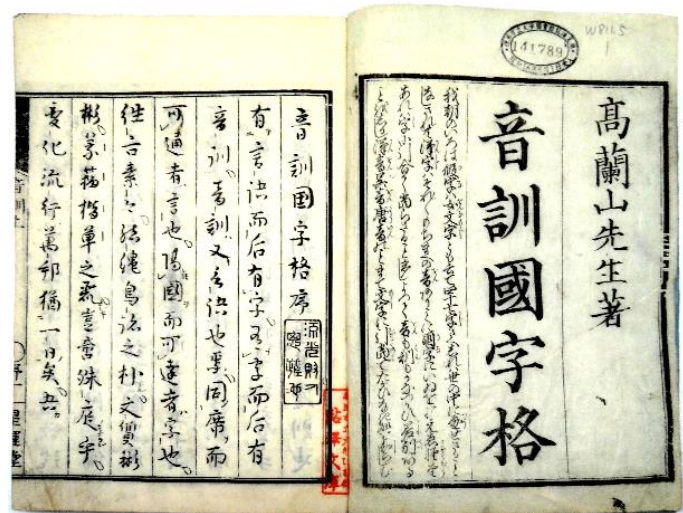
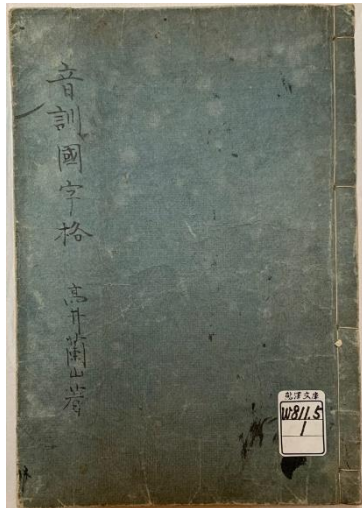


横浜市立大学学術情報センター
貴重書月替わり展覧会【オンライン】
バックナンバー

第124回(2022年1月)



おんくんかなづかい
『音訓国字格』

作者：高井伴寛（1762～1839）

版元：星雲堂

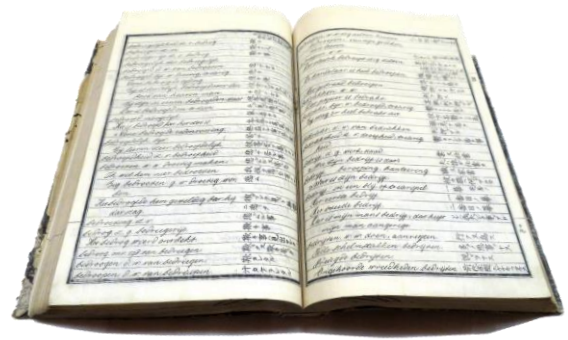
寛政11（1799）年（序）

縦23cm

江戸時代後期の戯作者である高井伴寛（蘭山）によって記された、国字（かな）を論じた言語学書。

本書内では、国字と各国の文字が比較され、解説が加えられている。

アルファベットは何らかの事情で記載されていないが、左から右に横書きする点や、発音の特徴に関する知識等は記載されている。

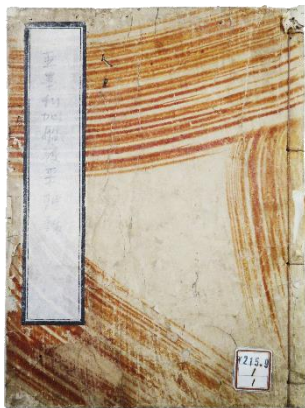


おらんだじい
『和蘭字彙』(8冊) ※第7冊を欠く

校：桂川甫周(1826~1881)

刊：安政2(1855)年(序)

蘭方の専門家であった桂川甫周が、長崎出島で蘭商H.ドーフと通詞吉雄権之助らが一部を完成させた辞書を校訂したもの。本書はオランダ語を左横書きで綴るために左綴じとなっており、本来、右縦書きとなる文は左縦書きとなっている。



〔亜墨利加船渡来雑話〕(3冊)

編者不詳

江戸末期の写本

24cm/四目綴/題は仮

ペリー来航当時に流入してきたアメリカの文化や、アメリカ人にスポットを当て、絵と文章で紹介した資料。

原典及び作品紹介リーフレットは、学術情報センターにて
公開、配布しています。

※現在、学外利用者のご来館はご遠慮いただいております。ご了承ください。